

25 年春闘行動 1 月 17 日 経団連包囲行動と丸の内デモ **企業は莫大な内部留保を活用し社会的責任を果たせ** **労働分配率上げて大幅賃上げを！** **最低賃金1500円に、軍拡止め暮らしに回せ、戦争反対！**

丸の内から東京駅前、経団連ビルに向かってデモ行進

1 月 17 日、国民春闘共闘と千代田区春闘共闘が丸の内から、東京駅前を通って、経団連ビルまでデモ行進を行いました。

旗竿がしなるくらい、ビル風が強い中で、約 400 人がデモ行進を行いました。

チンドン屋も入って、にぎやかにアピール

デモの先頭には、チンドン屋が参加し、にぎやかに、25 春闘での大幅賃上げなどをアピールし、デモ行進しました。

経団連前での訴え

全労連事務局長の黒澤さんが経団連に向かって訴え

デモの後は、経団連前に集まり、25 春闘の訴えを行いました。

国民春闘共闘の黒澤幸一事務局長は、「経団連の皆さんに訴える。まずは、労働者の実態に目を向けてほしい。賃金の状況はずっと下がっている。日本は物価の高騰が 2022 年から続いている。すでに 10% 以上も引き上がっている。食品は 120% になっている。こうした状況のもと、労働者の厳しい実態がある。昨年、賃金が上がったが、物価の高騰を上回っておらず、賃金の引き上げを実感できない。とりわけ、女性や非正規労働者、低賃金の青年労働者の生活は苦しくなっている。初任給は上がっても中高年の賃金は抑えられている。この実態は問題だ。

大企業では成果主義が行われ、賃上げは、すべての労働者にいきわたっていない。



経団連前でアピール 千代田の旗は全教の後ろ

内部留保を賃上げに回せ！ 企業は社会的責任を果たせ！ 労働分配率を上げろ！

大企業の労働分配率は、38%に過ぎない。労働者に企業のもうけを分けていない。1960 年か

らの統計史上、最低を更新している。労働者が稼いだ内部留保、500兆円を超えている。この内部留保を労働者の生活改善に回すべきだ。

大阪万博なんかやっている場合ではない。能登半島地震などの復興にお金を使うべきである。

労働時間短縮の問題では、日本の労働者は、ドイツの1.5倍も働いている。学校の先生の長時間労働、なぜなくなるのか。教育予算を減らしているからだ。生活できないからダブルワーク、トリプルワークの労働者が多くいる。しっかり、長時間労働を減らすことを訴えたい。

労働基準法の解体は、許せない。経団連は、労使自治を基本に労働基準法の解体を考えているが、労働基準法は、最低基準である。労使の力関係の中では、労働規制は守れない。

労働基準法の解体を我々は許さない。

ジェンダー平等、ハラスメントの防止、夫婦別姓制度の実施などもしっかりやってもらいたい。

物価高対策に大幅賃上げを 10%以上の賃上げが必要だ

25春闘の課題では、中小企業の価格転嫁が進むようにすることが重要。中小企業には、大企業にモノが言えない。こうした状況をなくすことは、大企業の社会的責任だ。

賃上げ要求は、去年の3万円以上では足りない。3万2000円以上、最低賃金、すべての職場で1500円以上にする、すべての労働者の時給200円以上に引上げること、これは10%以上の賃上げがなければできない。生活改善できる大幅賃上げを強く求めたい。

1日7時間、週35時間労働を求めたい。

なぜ、いま賃金が上がらないのか。企業は、物価高だ、赤字だとか言って、まともな賃上げをしない。こうしたことでは、日本の経済が冷え込んでしまう。

労働組合で賃上げの声を上げていこう。ストライキを構えたたかおう。すべての労働者の賃上げを求めてたたかっていこう。仲間を増やしてたたかおう。25春闘、諦めずたたかっていこう。」と力強く訴えました。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)



経団連前で物価上回る賃上げをアピール

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

* 千代田区労協通信バックナンバー／http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm

お知らせ

2025年1月22日（水）18時15分から エデュカス東京地下会議室

25 新春旗開きを開催します。新年にあたって、たたかいの交流をします。

ぜひ、ご参加をお願い致します。参加費 3000 円（争議団、文化団体は 1000 円）

2025年2月8日（土）13時から17時まで 水道橋駅近かくの全水道会館小会議室

25 春闘討論集会（千代田区春闘共闘）を開催します。学習と 25 春闘方針の討論、たたかいの交流をします。

講演 「歴史に逆行する労働法制の大改悪とは」

講師 高橋 寛さん（旬報法律事務所・弁護士）

* 各単組や争議団などの参加をお待ちしています。ZOOM 参加あります。参加費 1000 円

出欠について、千代田区労協へご連絡をお願いします。

討論集会終了後、区労協事務所で懇親会を行います。参加費 2000 円です。

千代田区春闘共闘 労働学校 **学んでたたかおう！**

2025年1月24日（金）

働く者はどうして団結しなければならないのか

労働組合の役割と労働組合が抱える課題について考える

低賃金・労働条件悪化に苦しみ中、労働者がお互いに競争させられバラバラにされています。その流れをどのように変えていくのか。労働組合による競争制限、共通ルール形成の役割・機能を学びましょう。

2025年2月28日（金）

労働組合はどのように変わってきたのか

— 国民春闘、平和と民主主義 —

未来に向けて、今こそ労働運動の歴史から多くの教訓を汲みとることが求められます。戦前の苦難を経て、戦後労働組合はいかに出発したのか。今日につづく春闘、職場闘争、平和運動の高揚を深く学びます。今に活かすヒントを得ることができるでしょう。

講師：江口 健志（東京学習協常任理事）

終了後懇親会 1000円

時間：18時30分開始 参加費：無料 場所：千代田区労協の事務所